

第 15 回全日本少年春季軟式野球大会
ENEOS トーナメント 沖縄県予選
第 9 回島田叡杯争奪沖縄県中学校軟式野球大会

～ 競技部資料 ～



資料 1 : 競技に関すること (P.2~P.5)

資料 2 : マナーチェック実施要項 (P.6)

沖縄県中学校体育連盟軟式野球専門部

＜競技に関すること＞

1 球場、練習会場について

球 場			練習会場		
読谷平和の森球場 ≪球場長≫ 島 健太 (沖縄県副専門部長)	開 場	7:30	読谷中学校	開 場	7:30
	ブルペン	あり		スパイク	土は可、芝生は不可
	備 考	第1試合 開始時刻 9:00		打撃練習	バント 1対1のペッパーまで
				投球練習	投球練習場：UP会場のみ 試合終了後バッテリーはすぐ入場しシートノックまで可能
				備 考	使用後の整備をお願いします。 入場は監督・コーチ、登録メンバー・補助員
駐車場 注意事項	・駐車場に限りがありますので、できる限り乗り合わせをお願いします。 ・身障者駐車場や路肩に駐車しないようにお願いします。				
南城市営新開球場 ≪球場長≫ 上原 徹哉 (沖縄県副専門部長)	開 場	7:30	レフト後方 広場	開 場	7:30
	ブルペン	あり		スパイク	土は可、芝生は不可
	備 考	第1試合 開始時刻 9:00		打撃練習	バント 1対1のペッパーまで
				投球練習	投球練習場：球場グラウンド内 オーダー交換終了後、1か所のみ使用可
				備 考	使用後の整備をお願いします。 入場は監督・コーチ、登録メンバー・補助員
駐車場 注意事項	・駐車場に限りがありますので、できる限り乗り合わせをお願いします。 ・身障者駐車場や路肩に駐車しないようにお願いします。				
瀬長島野球場 A ≪球場長≫ 米田 善行 (沖縄県専門部長)	開 場	7:30	瀬長島野球場 B	開 場	7:30
	ブルペン	なし		スパイク	土は可、芝生は不可
	備 考	第1試合 開始時刻 9:00		打撃練習	バント 1対1のペッパーまで
				投球練習	投球練習場： <u>マウンドの使用可</u> <u>(対戦相手と調整して使用)</u>
				備 考	使用後の整備をお願いします。 入場は監督・コーチ、登録メンバー・補助員
駐車場 注意事項	・駐車場に限りがありますので、できる限り乗り合わせをお願いします。 ・身障者駐車場や路肩に駐車しないようにお願いします。				
瀬長島野球場 C ≪球場長≫ 諸喜田真作 (国頭地区専門部長)	開 場	7:30	瀬長島野球場 D	開 場	7:30
	ブルペン	なし		スパイク	土は可、芝生は不可
	備 考	第1試合 開始時刻 9:00		打撃練習	バント 1対1のペッパーまで
				投球練習	投球練習場： <u>マウンドの使用可</u> <u>(対戦相手と調整して使用)</u>
				備 考	使用後の整備をお願いします。 入場は監督・コーチ、登録メンバー・補助員
駐車場 注意事項	・駐車場に限りがありますので、できる限り乗り合わせをお願いします。 ・身障者駐車場や路肩に駐車しないようにお願いします。				

資料1

2 球場内でのアップ

- (1) 第1試合の球場入りは、試合開始90分前より可とする。遅くともオーダー交換時までに行うこと。
- (2) 第1試合の球場内でのアップに限り、チーム統一のTシャツを認めるがオーダー交換時には試合用ユニフォームを着用すること。(球場アナウンスでのオーダー交換の案内を期に着替えを行う)
- (3) 芝生保護のため、球場内芝生エリアはスパイクを履いての練習を禁止する。
- (4) 打撃練習はバントまたは1対1のペッパーまでとする。
- (5) 外野ノックはグラスラインより内側(土の部分)から行うこと。
- (6) 第1試合のチームは球場内での練習に登録メンバー以外の部員を入れることができる。サイドノック時のボールボーイはヘルメットを着用し、試合開始45分前(オーダー交換時)には球場内から引き上げること。
- (7) 投球練習の際の捕手(控えの捕手も同様)は、必ず捕手用ヘルメット、スロートガード付きマスク、プロテクター、レガース、ファウルカップを着用すること。また、コーチ1名のブルペン捕手を試合開始まで認めるが、防具については選手と同様に着用するものとする。
- (8) 球場内練習では、競技で使用する以外の道具を使用することを禁止とする。
例 シャトル、プラスチックボール、サンドボール、ラダー等

3 練習会場でのアップ

- (1) 練習会場の使用は、会場到着後本部席(球場長)に確認をとって練習開始すること。その際、設備面・安全面を考慮し、大会本部が使用についての制限を設ける場合がある。
- (2) バッティング練習が可能な練習会場では、安全面に注意して行うこと。
- (3) 練習会場では、可能な限り競技で使用する道具のみを使用すること。
- (4) 第2試合目以降のチームは球場内(フィールド内)のブルペンを使用することはできない。
※ ブルペンがフィールド外にある場合は使用を認める場合もある。

4 オーダーの記入・提出・交換

- (1) 記入
 - ① オーダー用紙は全てフルネームで記入すること。※控え選手もフルネームで記入すること。
 - ② オーダー用紙のポジションの記入は数字で記入すること。
- (2) 提出
 - ① オーダー用紙の提出は、第1試合はオーダー交換の10分前まで、第2試合以降は前試合の3回終了までに本部へ提出すること。
 - ② オーダー用紙は5部提出すること。
- (3) 交換
 - ① 第1試合目のオーダーの交換は、試合開始時刻の45分前とする。
 - ② 第2試合以降のオーダー交換は、前試合の4回終了時に行うこととする。

資料1

5 シートノック

- (1) シートノックは、試合開始30分前に後攻側から始める。通告時より5分以内とする
 - ※ 決勝戦は試合開始35分前、7分以内。
- (2) 天候等の事情により省略、短縮、またはサイドノックに変更することもある。
 - ※ サイドノックでは、芝生保護のため球場内芝生エリアはスパイクを履いての練習を禁止する。
- (3) 相手チームは、完全にベンチ内で待機すること。
- (4) シートノックの捕手は登録選手が防具を着用して行うこと。補助員の捕手は不可。
- (5) シートノック・サイドノックの補助員は全員ヘルメットを着用させること。
- (6) シートノック時の補助員を、登録外生徒（5名以内）で行ってもよしとするが、ユニフォーム、ヘルメットを着用してのボールの受け渡しに限る。 ※ボールケースは地面に置かないこと。
- (7) 先攻チームは後攻チームのシートノック終了1分前のアナウンスでベンチ前に整列しノックに備える。
- (8) 安全面に十分注意しマウンド下での投内連携のためのノックは認めるが、ノックを受けない投手はフェアグラウンドにとどまることは認めない。

6 用具・装具規定および点検について

- (1) 沖縄県中学校体育連盟軟式野球専門部「用具・装具規定及び運用規定」を遵守すること。
 - ① シューズ・スパイクについては、色の混在を認める。但し、高校野球対応のものとする。
 - ※ 中体連主催の九州大会・全国大会では色の混在は認められない。
 - ② アームスリーブにおいては、サポーターと同様の扱い(医療目的)とし、使用する場合には、アンダーシャツと同色とし、投手が使用する場合は両袖の長さを揃えるものとする。
 - ⇒使用する際はオーダー交換時に申告すること。
 - ③ リストガードの使用に関する規定について
 - 中体連主催大会(夏季野球選手権大会)においては、リストガードの使用は認められないが手袋とリストガードが一体型のものについては使用可。
 - 連盟主催大会においては、リストガードの使用を認める。手袋とリストガードが一体型のもも使用可。
 - ④ サングラスは健康上の理由にのみ使用を認める。その際はオーダー交換時に使用する選手の報告を行うこと。(監督・コーチも同様)。
- (2) 各チームとも上記の規定を熟読し、事前に用具点検を確実にを行うこと。
- (3) 用具点検は、試合前シートノック時にベンチ待機チームに対して行います。
- (4) ヘルメットは、規定に則ったもの(JSBB、SGマークあり)を最低限8個以上準備すること。
- (5) 点検の際には、ヘルメット、バット、グラブなど用具をベンチ前に並べ、点検に協力すること。

7 試合

- (1) 投手の準備投球中に相手ベンチ前での素振り等
- (2) 試合中のアップ(キャッチボール)は2組(4名以内)とする。
 - ※攻守交替時に限り、控え選手がファウルグラウンドでの外野方向へランニングすることは認める。

※キャッチボールの際のゴロ捕球は禁止。

- (3) 控え捕手も常に捕手用ヘルメット、スロートガード付きマスク、プロテクター、レガース、ファウルカップを着用すること。
- (4) 次打者席では、投手が投球に関する動作（サインを見る姿勢）に入ったら速やかにスイングを止め、投球を注視するものとする。 ※打者、次打者以外の選手が、フィールド内で素振りを行うことは禁止。
- (5) レッグガードとエルボーガードを外すときは速やかにおこなうこと
- (6) ベースコーチ、バットボーイともに、規定のヘルメットを着用すること。
- (7) イニングの攻守交代時にヘルメット、グラブの受け渡しがスムーズに行えるように手配すること。
- (8) 攻撃タイムおよび守備タイムは1分以内で行えるようにすること。
- (9) 4回、7回終了時に、会場補助役員がグラウンド整備を行う。
 - ※ 天候によっては行わない場合もある。
 - ※ 整備終了後の直後に登板する投手に限り、ベンチ前でのキャッチボールは認める。
- (9) 天候および負傷（体調不良も含む）による試合の中断は10分を目安として、出場の可否をチームで判断し、試合を再開できるようにする。
- (10) 熱中症対策として、審判、本部の判断によりおおむね3分間のウォーターブレイクの時間を設ける。

8 応 援

- (1) ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止とする。
- (2) 相手チームへの「やじ」や「走った」等の攻撃側のアンフェアな声かけを禁止とする。
- (3) 投手が投球動作を開始したら、投手の動揺を誘うような声を禁止とする。

9 投球制限

投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、下記の通りとする。

- ・大会中の1日の投球数…100球
- ・1週間の投球数…350球

※試合中規定投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するか、攻守交代まで投球できる。

マナーチェックの実施について

沖縄県中学校体育連盟軟式野球専門部

1 目的

沖縄県中学校野球選手権大会 大会特別規則10(9)に基づき、学校教育の一環として行われる中体連主催の大会には、中学生らしい服装・マナーで参加させることを目的として、本大会においても参加校登録選手を対象に「マナーチェック」を実施する。

※今大会は接触をさけるため大会役員によるマナーチェックは行いません。各校でチェックして下さい。

2 実施方法

- (1) 各校引率教師が責任をもって「マナーチェック」を実施する。
- (2) 点検項目

項目		チェック基準
1	頭 髪	相手校に不快感や威圧感を与えるような ○ 染髪や脱色 ○ そり込みや刈り込み ○ 眉ぞり などをしていないか。
2	爪	競技に危険を及ぼすような ○ 故意に伸ばされた爪 ○ 投手指先へのテーピングなどをしていないか。
3	装飾品	競技に支障をきたす（大会取り決め事項に禁止されている）ような ○ 装飾品（ピアス、ネックレス、ミサンガ、リストバンド、リストガード等） を身につけていないか。 ※ チタンブレスレット、ファイティン、ネックレス等の着用は不可。
4	ユニフォーム	全選手が ○ 同色、同型、同意匠のユニフォーム・帽子・アンダーシャツ・ソックス・ オーバーストッキングを着用しているか。 ※ オーバーストッキングは長さ（ローカット、ミドルカット等）を統一したも のを着用すること。カラーソックスは不可。 ※ <u>シューズ・スパイクについては色の混在を認める。但し、高校野球対応の ものとする。</u> <u>(注) 中体連主催の九州大会・全国大会では色の混在は認められない。</u>

※ 大会2日目以降についても、マナーに関する決まりを守ること。